

中国・香港発！おかしな日本語～完結編～

学部4年 田島彩菜

前回は、「おかしな日本語」の紹介を通して**日本語の間違え方にはパターンがある**ことをご紹介させていただきました。今回は結論として、中国人日本語学習者は日本語を学ぶ際**どんなことで苦勞しているのか**をお伝えできればと思います。

1. 日本語の間違え方

彼らの日本語の間違え方は大きく2つ—(i)文字における間違い(ii)文法における間違い—に分けることができる。その中でも「文字」における間違え方は、大きく3つの分野(漢字, 平仮名・片仮名, 日本語として成立しないもの)に分けることができる。

①～漢字編～

- **簡体字**をそのまま使っている

ex1. すみません,遅くなりましたが,私は**営業部**の李と申します。(正: 営業)

ex2. 長い**間**,本当にお世話になりました。(正: 間)

ex3. お荷物はもう**準備**されました。(正: 準備)

- **繁体字**をそのまま使っている

ex4. ご家族の皆**様**はげんきですか?(正: 様)

ex5. すみません,**遅**くなりましたが,私は営業部の李と申します。(正: 遅く)

中国人も漢字を使うのに、と意外に思われた方もいるかもしれないが、彼らが使う漢字は日本人が使っている漢字と異なるものもあるため、書く際に区別を要するのであるが、区別することに大変な苦勞が伴うことが分かる。

②～ひらがな・カタカナ編～

- 小さくしなくていい字を小さく書いている

ex6. どうも**おめ**でどうございます。

ex7. カレー**ライス**はどう?

③～その他～

- 全く日本語として成立しないものもある

ex8. よいお年を**しん**でいつてね。

ex9. 田中部長**いらつ**じますか?

ex10. 失礼ですがどちらに(電話を)お**かけ**で | お**か**? ():私が入れた補足情報です

縦書きの際は音を伸ばす意味を表す縦棒(|)を横棒(一)で書き間違え、横書きの際は横棒

(一)を縦棒(丨)で書き間違える例をしばしば見かける。

● 中国語・日本語混合型もある

ex11. この**信紙**に**信人, 受信人**のお名前とご住所を詳しく記入してください。

おそらく“信人”は「手紙を送る人」，“受信人”は「手紙を受け取る人」を表しているつもりであると思われる。“受信人”の部分を見ると、「動詞(受：～を受け取る)＋目的語(信：手紙)」という中国語の文法が垣間見られる。日本語には「受取人」という言葉があるが、これと間違えたのかもしれない。

● 簡体字使用＋中文和訳ミス混合型もある

ex12. 我想给朋友买一件：私は、友達(友達)にあげるのが買いたい(買いたい)です。

()：私が入れた補足情報です (正：私は友達に1つ買ってあげたいです。)

“给”を前置詞「～に」ではなく、動詞「あげる」と誤って解釈したことによる間違い

ex11, 12 を見てみると中国語の文法ルールと日本語の文法ルールの違いをいまひとつ理解できていないことがうかがえる。この他にも「文法」における間違いには以下のものが挙げられる。

● ～名詞編～

- ・ 出身は**美国**です。(正：米国)
- ・ **生日**はいつですか？(正：誕生日)
- ・ どんな**顔色**が好きですか？(正：色)

美国と米国、生日と誕生日、顔色と色、のように**使っている字が同じ**(「国」、「生日」、「色」)**単語における間違い**が目立つ。王国華 2003 によれば、これは、中国語で日常的に用いられている単語が日本語でも同じように用いられていると誤解してしまうことによる誤用であるようだ。

● ～形容詞編～

- ・ 中国語の、**形容詞が名詞を修飾する時に使う「的」の用法の誤用**

ex: 広い**の**教室で勉強している。(正：広い教室)

・ 「丈夫だと思う」のように、**「形容動詞+～と思う」の形を形容詞にもあてはめたことによる誤用**

ex: 敬語の使い方が一番**難い**だと思います。(正：難しいと思います)

・「静かな」、「きれいな」のような形容動詞の連体形の語尾「な」を形容詞にもつけてしまうことによる誤用

ex: 中山さんと同じなクラスだ。(正: 同じクラス)

・「学生ではありません」、「静かではありません」のように、「名詞/形容動詞+～ではありません」の形を形容詞にも当てはめたことによる誤用

ex: アメリカの映画はあまり面白いではありません。(正: 面白くないです)

形容詞の間違えパターンを概観すると、形容動詞の用法を形容詞にも当てはめてしまう場合が多いことが分かる。形容動詞と形容詞の用法の違いを習得することが、形容動詞がない中国人にとっては難点の一つなのであろう。

2. 調べてみて分かったこと

結論として、中国人日本語学習者は「文字」と「文法」の面で苦戦していることがうかがえる。彼らは「区別する」ことに苦勞していることが本当によく分かる。「レ」と「し」の区別、「準備」と「准备」の区別、「誕生日」と「生日」の区別・・・挙げたらきりが無い。彼らに日本語を教える際に、彼らが文字においても、文法においても中国語と日本語を区別して覚えられるように中国語と日本語を対比させて日本語を教えることが求められるのではないだろうか？また前回でも述べたが、自分にとって当たり前なこと＝彼らにとっても当たり前であると思いきや彼らに日本語を教えるべきではないと思う。私たち日本人にとっては「レ」と「し」の違いが分かるのが当たり前であっても、彼らにとっては当たり前ではないからである。実際、「レ」を「し」と書き間違えているのである(逆も然り)。私達は人生の中で、自分にとって当たり前だと思っていることが他の人にとっては当たり前でないことがあるということを幾度も経験する。しかし自分にとって当たり前なことが相手にとっても当たり前であるとは限らないことを理解することは、相手目線でものを考え、行動するための第一歩であると思う。これを中国人日本語学習者に日本語を教える際にあてはめるならば、彼らにとっては「レ」と「し」の違いは区別出来て当たり前なものではないのだから「レ」と「し」を対比させて形の違いなどを理解できるように教えていこうとすることができないのではないかと思う。

参考までに:

中国人日本語学習者の苦勞は、「文字」の分野だけでもこれだけ挙げられます。

- ひらがな・カタカナにおける、書き方や形の似ている字の区別 (例: 「し」と「レ」, 「ち」と「き」, 「う」と「ラ」)
- 小さく書く字と小さく書かない字の区別 (「ゃ」「ゅ」「ょ」「っ」といった「小さい字」を小さく書かない+「い」「う」「お」といった「殆どの場合小さく書かない字」を小さく書いてしまう)
- 濁音と半濁音の区別 (例: 「しゃぶしゃぶ」を「しゃぶしゃぶ」と書いてしまう)

- 濁音や半濁音をつける場合とつけない場合の区別
- 簡体字,繁体字からの脱却

<資料>

刘振华 2006. 『说日语』 中国人口出版社。

8(ex1, 5), 16(ex4), 20(ex2), 31(ex6, 8), 50(ex9), 68(ex10), 109(ex7), 123(ex11), 247(ex3),
250(ex12).

参考文献

王国華 2003. 「中国人日本語学習者が間違えやすい表現について」, 『北陸大学紀要』 第 27
号, pp. 115-122。

田島彩菜 2011. 「中国・香港発！おかしな日本語～PART1～」, 『KOTONOHA』第 98 号, pp. 11-12。